

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	田中 涼太	学校名	豊中市立第三中学校
実施学年	中学 3 年生	教 科	外国語（英語）
単元名	Program 1-3 「～が心配だ」などと言えるようになろう。		

《学びを深めたいポイント》

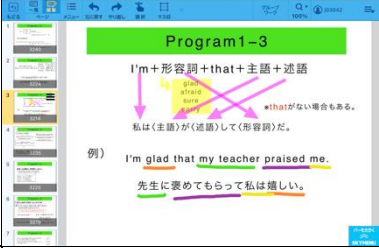
文法項目を学び、実際に英作文を作って終わりにするのではなく、他人に上手に説明できてこそ深い学びになると考えました。クラスメイトがどのような説明を受けたらわかりやすいのか、レイアウトを考えたり色を使うように指導しました。「見る人、聞く人」の視点に立って習った文法を説明できるようになることで、より深い学びになったと思います。

《SKYMENU 活用のポイント》

- ・ノートで書くとどうしても回収、印刷、配布と時間と労力がかかってしまうところが、SKYMENU のグループワーク機能を使えば一瞬で一つの発表ノートにできるのがポイントだと思います。
- ・タブレット端末を活用することでわからないことをすぐ調べることができたり、画像を挿入することができたりと、デジタルならではのノート作りが可能になりました。
- ・リアルタイムでの画面共有をすることで自分の学びを方向を微調整することが可能になりました。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	新しい文法項目を教員のパワーポイントで学習。 練習問題をクラスメイトと考える。		
展 開	・習った文法項目を、教科書を見たり、Web サイトを見たりしてよりわかりやすく説明するノートを作成する。	・個人で発表ノートに文法項目をまとめる。	・初めから全体での活動にするのではなく、まずは自分が思うようにレイアウトなどを考えて見やすい発表ノートを作成する。 「誰かに見られるノート」を意識して作成する。

	・画面一覧を確認しながら、作成段階で良いことを書いていたり、見やすいレイアウトのものを紹介する。 ・グループワーク機能を用いて一つのノートにまとめる。	・授業中にして画面一覧の活用 ・発表ノートのグループワーク機能でクラスを小グループに分けずに一つにして全員の発表ノートを共有。 	・作成段階でもリアルタイムで生徒の画面を共有できる ・完成した発表ノートを見合うことで感想を言い合い、自己有用感を感じ、学ぶ意欲につながる。
まとめ	・生徒の作成した発表ノートからいくつかピックアップして学びのおさらい、注意点の確認をする。	・生徒の作成した発表ノートで大画面に映して全体共有。 	・教員が作ったものではなく、クラスメイトが作ったノートなので興味が湧く。 ・クラス全体に発表してもらいたい!と意欲を増して作成する生徒も現れる。

《実践を振り返って》

グループワーク機能を活用するにあたって、小グループで活用するのは勿体無いと感じたので今回の活動を取り入れて見ました。回を重ねるごとに生徒が作成するノートも綺麗さやこだわりが増していくのがとても良いと感じました。教員が説明したことを手元のノートに書いて自分だけで確認するだけではここまで丁寧に、クラスメイトのことを考えながら授業に参加することはないと思います。深い学びには「人との繋がり」がとても大切だと思います。自分の考えを一瞬で共有できる SKYMENU のグループワーク機能は、学びを深めるだけでなく仲間づくりの活動にもなっていると思います。これからも一緒に学習する仲間を大切にできる活動を考えていきたいです。